

CHALLENGE
 まつばら和生
 市政報告
 ENGECHALL

2002年 新春号
 … 発行所 …
 まつばら和生
 後援会
 岐阜市末広町12-9
 電話 264-4853

五十年先を見届ける者として

【議会報告】

▼十二月定例会市会は十二月十七日
 で開会。会期中、皇太子同妃殿下に
 ささげる賀詞を岐阜市議会として全
 会一致で決議。▽平成十二年度一般
 会計・特別会計決算認定▽緊急雇用
 対策、地下水汚染対策、肉用牛経営
 安定対策、市職員・議員の賞与減額
 等を含む約十億四千万円の補正
 予算案など十七議案を審議の結果、
 原案通り可決。▼決算認定について、
 会派(民主ネット)として公園費の
 内、「天理教用地取得の支出に納得
 出来ない部分がある(岐阜公園再整
 備事業には賛成)」との反対討論を
 行い、議案に反対の立場で本会議採
 決に臨みました。

【いつの決算?】

決算認定の時期について一言。市
 民の税金の使途を早く公表すること
 は市の責務であり、変化の激しい時
 代に新たな施策展開を練る上の基礎

平成12年度 歳入合計1578億 565万円
 一般会計決算 歳出合計1469億5644万円

……市民のみなさん1人あたりの決算額……
 H13.3.31現在 (408,905人)

●歳入

個人市民税	50,198 円
固定資産税	71,047 円
その他市税	42,436 円
市税合計	163,681 円
諸収入	54,744 円
国・県支出金	39,604 円
地方交付税	39,462 円
その他	88,432 円
合計	385,923 円

●歳出

民生費 (老人、障害者、児童の福祉、生活の安全など)	75,717 円
土木費 (道路、公園、住宅などの整備)	65,126 円
公債費 (施設整備などのための借入金償還)	38,628 円
教育費 (学校教育や社会教育の振興)	35,801 円
諸支出金 (他会計への補助金・繰出金)	31,796 円
商工費 (商工業の育成、観光の振興)	31,749 円
衛生費 (健康づくりや環境対策、ごみ・し尿処理)	27,325 円
その他 (消防、農林水産、議会、失業対策など)	53,248 円
合計	359,390 円

資料としても一刻も早く活用すべき
 ものです。今議会に提出された十二
 年度決算が市民に公表されるのは十
 四年二月の「広報ぎふ」。民間出身
 の感覚では理解し難く他市の事例を
 調査した所、県内十四市は全て十二
 月議会提出ですが、愛知県の前では
 大半が九月議会に提出。予算規模が
 大きい(作業が膨大であろう)名古

屋市さえ九月議会でありませぬ。「早
 く確定させる責任・効果をどう認識
 するか。愛知県の例を踏まえ岐阜市
 だけ出来ない理由があるか」市当局
 に資料を示し問いましたが回答は納
 得いくものではありません。「この
 仕事の進め方は岐阜市役所の長年の
 常識なのに、何故松原は疑問を持つ
 のか?」とも思っているようです。
 多くの民間企業は、十二月議会開会
 前に、九月までの中間決算の発表を
 終えているというのに……。

【将来への責任】

十二月の日銀短観は景況感の引き
 続きの悪化を示し、市民の不安も増
 す中で小泉改革について激論がなさ
 れています。日本を立て直すため党
 派を超えた前向きな判断をすべき時
 期だと思っています。中央は道路公
 団債務の償還を五十年で決着させる
 方向ですが、岐阜市議四十四人の
 中で五十年先を見届ける(平均寿命で
 は……)数少ない一人として、常に將
 来への責任を胸に市政に取り組んで
 いかねばならないと深く決意し
 ています。
 新年も変わらぬご指導をお願い申
 し上げますとともに、皆様のご健勝
 とご多幸をお祈り申し上げます。

松原和生(かずお)の略歴

- 昭和39年 12月28日、岐阜市に生まれる
 “和”を“生”む人物にと「和生」と命名
- 昭和62年 愛知大学法経学部法学科を卒業
- 昭和62年 名古屋鉄道(株)に入社
 営業推進部リーダー、岐阜支配人室係長
- 平成11年 岐阜市議会議員に初当選(34才)
 産業交通・建設水道・厚生委員 他
- 地域にて… 金華消防団員・末広町北組自治会長など
 (資格) 教員免許 高校・中学(社会)
 一般旅行業務取扱主任者



初当選(1999年4月)から3年。
 「常に初心忘れずべからず！」

岐阜市議会議員
松原和生

〒五〇〇一八〇四二
 岐阜市末広町十二の九
 電話 二六四一四八五三
 E-mail kazunomg@ds.dion.ne.jp

●市政へのご意見…ご相談…
 お気軽にご連絡ください。

学校の統廃合について

現在、岐阜市教育委員会では通学区審議会に対し「旧市内においては、急激な児童・生徒数の減少がみられ、今後の推計でも、この傾向は尚一層進行することが懸念される。人口密度の関係から極めて近距離の間に学校が設置されていたり、校区を離れて中学校が設置されている等の現状がある」などの理由を付して、旧市内の九小学校（金華・京町・明徳・徹明・白山・梅林・本郷・華陽・木之本）と二中学校（伊奈波・明郷）の見直しを諮問しています。その中で、学校統廃合の組み合わせが具体的な話となってきました（下表）。審議会からは五月頃までに①案を基本に複数案を併記する形で答申がされるものと予想されます。それを受けて教育委員会では市長部局との調整を図り、地域住民やPTA他関係者の意見を求め議論を深めていくこととなります（審議会の答申は市としての最終決定ではありません）。

尚、岐阜大学病院跡地を取得（約八十億円）するため平成十六年度中に財務省に使用目的を示さなければなりません。統廃合に関わる学校用地とするならばその時期までに計画を詰める必要があるため、期限を切つて議論が急ぎ進められる可能性もあります。確かに空洞化や少子化の

④ 伊奈波中、明郷中を廃校し、早田小・則武小による新設中（場所は伊奈波中または明郷中跡地に）
《メリット》伊奈波中、明郷中の校区外通学の解消。則武小の通学中学校の統一。島中の大規模校の解消。

① 案

① 金華小と京町小で統合小（場所はどちらかに）
明徳小と本郷小で統合小（場所はどちらかに）
徹明小と木之本小で統合小（場所はどちらかに）
梅林小と白山小で統合小（場所はどちらかに）
④ <金華小と京町小の統合小>と<明徳小と本郷小の統合小>で新設中（場所は大学病院跡地に）
<徹明小と木之本小の統合小>は本荘中へ
《メリット》小学校の統合が現在の中学校単位でわかりやすい。各統合小学校が適正規模である。新設中学校も適正規模である。校区外通学の解消。
《デメリット》

② 案

① 金華小と京町小と明徳小で統合小（場所は大学病院跡地に）
徹明小と木之本小と本郷小で統合小（場所はいずれかに）
梅林小と白山小で統合小（場所はどちらかに）
④ <金華小と京町小と明徳小の統合小>→新設中（場所は大学病院跡地に）
<徹明小と木之本小と本郷小の統合小>は本荘中へ
《メリット》小学校数が一番少なく管理的経費等の削減ができる。校区外通学の解消。
《デメリット》大学病院跡地に中併設の場合、校舎は合同にしないと校地が狭い。徹明小と木之本小と本郷小の統合小は規模が19クラスと大。本荘中の規模が19クラスと大。新設中が1小学校→1中学校となる。

③ 案

① 金華小と京町小と明徳小で統合小（場所は大学病院跡地に）
徹明小と木之本小で統合小（場所はどちらかに）
梅林小と白山小で統合小（場所はどちらかに）
④ <金華小と京町小と明徳小の統合小>と本郷小で新設中（場所は大学病院跡地に）、<徹明小と木之本小の統合小>は本荘中へ
《メリット》新設中学校の適正規模化。校区外通学の解消。
《デメリット》本郷小のクラス数が11クラスと少。

④ 案

① 京町小と明徳小で統合小（場所はどちらかに）
徹明小と木之本小で統合小（場所はどちらかに）
④ <京町小と明徳小の統合小>と金華小と本郷小で新設中（場所は大学病院跡地に）、<徹明小と木之本小の統合小>は本荘中へ
《メリット》最小規模校の解消。学校の偏った配置の解消。校区外通学の解消。
《デメリット》小規模校（金華小、白山小、梅林小、本郷小）は未解消。特に金華小のクラス数が9クラス（19年度推計）。梅林小・本郷小のクラス数が11クラスと小。

※ 新設中の場所が小学校跡地利用の場合

・敷地面積が大きい京町小学校を新設中学校とした場合、若干狭隘のため、県立盲学校跡地（平成15年未移転）、または明徳小学校を併せて利用する必要がある。

影響で今年度の新入生が、徹明小十七名・明徳小二十二名となっている実態は問題です。集団の中で互いに切磋琢磨し個性を磨き合うこと、クラス替えがあり社会性を身に付けていくこと等はとても大切です。一方で、自治会連合会や老人クラブ・婦人会等々の各種団体が校区を同じくする求心力で完成されている現状への影響、都心居住を打ち出し中心市街地の再生を図る構想との整合性や跡地利用の観点など、教育論を超えた課題も発生します。今後、地域住民や関係者の声にもしっかりと耳を傾け、十分な議論の上で、より良い結論を導き出す努力をしていくことが重要です。



休日、長男大和（やまと）と一緒に、この子の卒業する小学校・中学校はどうなるのか？

ご旅行のご案内・・・まつばら和生後援会・・・
良い事・・・一杯ありますように！

京都伏見稲荷初詣

◆ 出発日 平成14年1月19日（土）日帰り
◆ 集合 伊奈波神社広場 午前7時50分
◆ 会費 6,000円
◆ 行程 伊奈波神社～京都伏見稲荷～ししゅうやかた（昼食）～今宮神社（あぶり餅賞味）～大原（漬物試食）～琵琶湖畔（ショッピング）～伊奈波神社（午後6時頃予定）
◆ 申込先 まつばら和生後援会 まで
末広町12-9 ☎ 264-4853

※ 1月10日までにお申し込みください。但し定員になり次第締め切らせていただきます。

平成 年 月 日

《京都伏見稲荷初詣》参加申込書

ご氏名	お電話
ご住所	

※ ご記入の上、会費を添えてお申し込みください。